

重度重複障害のある子のコミュニケーションを考える分科会

(目的)

重度重複障害のある子どもや成人に関わるSTは少なく、また、検査で測れるようなわかりやすい成長を認めにくい事例も多く、自身の実践の価値を実感しづらいものです。けれども、個々のニーズやQOLといった観点から、様々に工夫して指導を進めています。

東京都はここ3年の内にすべての特別支援学校に外部専門家を導入します。STは特別支援学校に在籍する多種多様な障害のある児童・生徒への対応を求められます。東京都に限らず、障害は重度化し、これまでの技術や知識では対応できない事例も増えています。感覚統合的な視点からの玩具の活用やICT技術の活用など学ぶべきことは多岐にわたります。

本分科会では、以下の活動を通じて、重度重複障害のある子どものコミュニケーション指導について、主に遊びの観点から実践研究を重ね、『よいものは、みんなのものに』を合い言葉に有効な情報の発信を進めたいと考えています。

(活動内容)

重度重複障害のある子どもや成人のコミュニケーションについて、Webも活用し、以下を進める。

- (1) コミュニケーション能力の評価方法についての研究
- (2) 教材や教具、玩具、ICTなどの実践研究と情報収集、発信
- (3) セミナーや学会にて会員向けに、各種イベントなどで実際に支援を必要としている皆さんへ、情報発信

(連絡先)

森岡典子 メールアドレス：st.for.judo15@gmail.com